



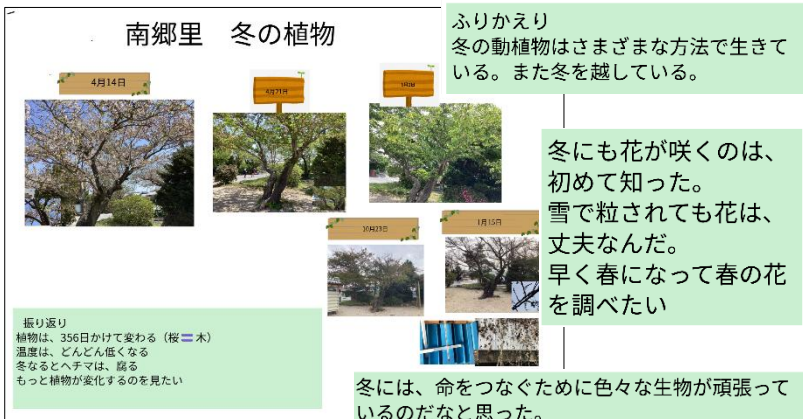
2026.1.16 第22号

森田 博

4年「冬の星」「寒くなると」
5年「人のたんじょう」

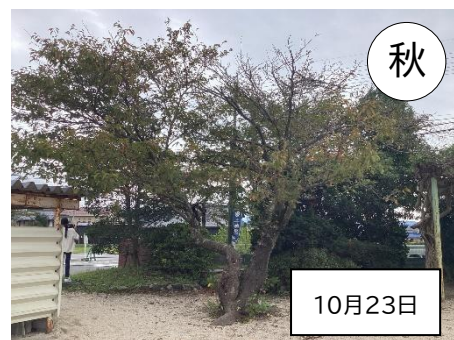
寒い冬の植物や動物の様子は？

4年「寒くなると」の学習では、秋から冬にかけて植物や動物たちがどのように過ごし、春まで命をつないでいるのかを考え、自然を観察しました。子どもたちが見つけた植物の命のつなぎ方を図鑑にまとめました。**ハツタ**は秋に卵を土の中に産んで、卵の状態で命をつないでいます。**ヘチマ**は夏に大きな実を作り、冬には種をたくさん作って命をつないでいます。



1年を通して同じサクラを同じ場所からタブレットに残し記録しました。

ふりかえり 夏とは違う冬の楽しさをしました。驚いたことはさくらの花芽、葉芽の違いは簡単に見分けができることに驚きました。



※サクラの写真は右の図鑑を作成した児童の記録。

サクラは、花芽、葉芽をしっかり出して、寒い冬の間も夏に蓄えた養分を使って生きています。

更生保護女性会様が植えてくださった**パンジーの花**を見て、寒い中でも咲いていることに関心をもつ子もいました。



カブトムシの幼虫を観察しました。このカブトムシは、夏に6年生の児童が私に15匹もくれました。観察をさせる貴重な教材としても大切に育てています。子どもたちと共に、冬の間カブトムシは土の中で、枯葉や木くずを食べながら体を大きくし、生き抜いていることを考えました。